

【資料2】 将来像に関する今後の取組について

デジタル化推進本部事務局
(経営戦略部 情報戦略課)

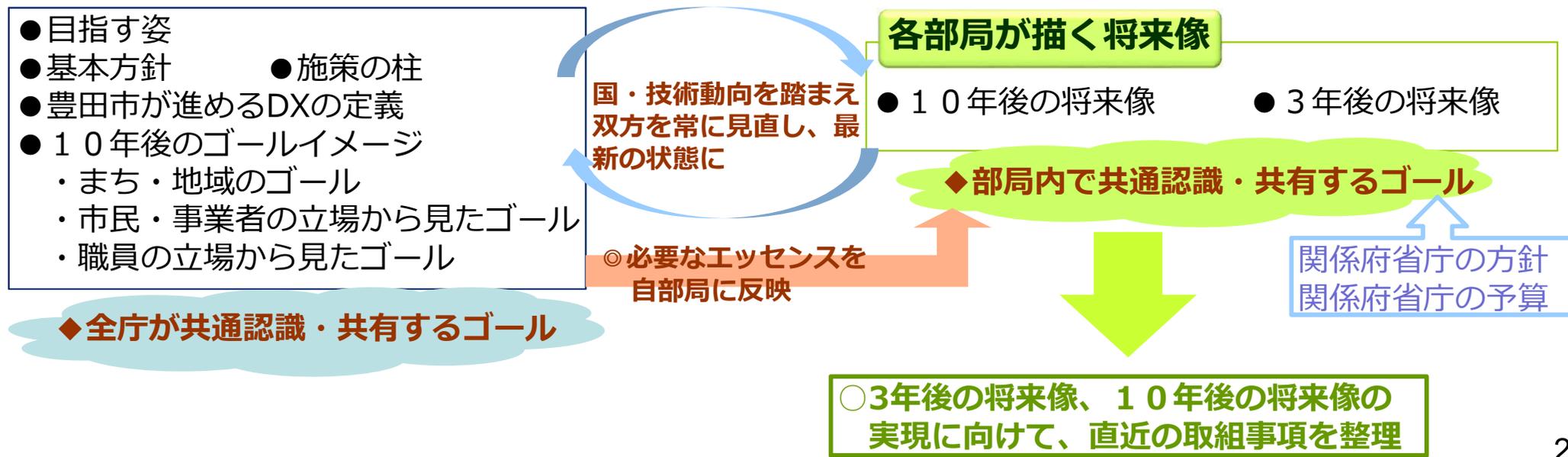
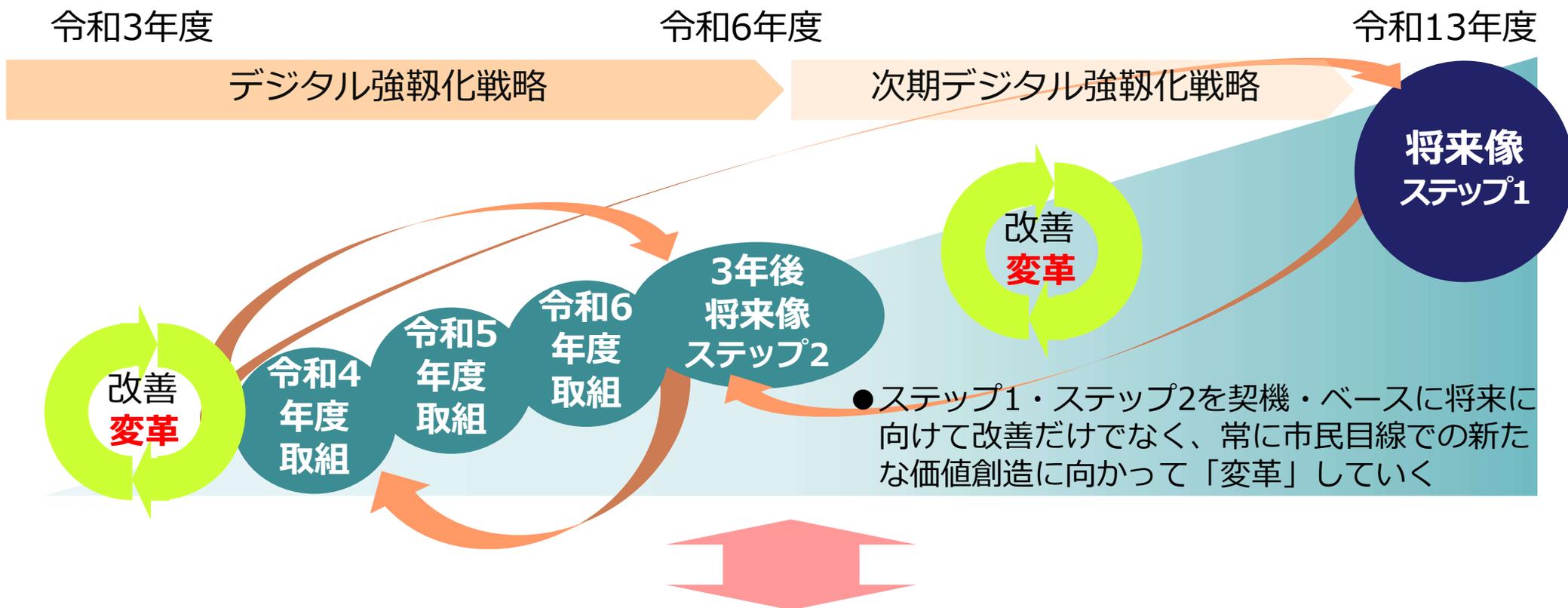
- ▲重点取組項目を踏まえた上で、3年後・10年後の将来像とリンクさせることはイメージがしにくい。

- ▲10年後の将来像とのリンクはできるかもしれないが、3年後は直近過ぎて整理が難しい。
(※一方で逆の意見もあり)

- ▲重点目標と10年後/3年後の将来像の関係が飛躍しており、つながりが見えにくいのではないか。

- ▲重点取組項目に記載している一項目から様式4において、10年後の位置づけや、3年後の位置づけを整理し、具体的な取組を記載していくのはなじまないのではないか。

2 ご意見を踏まえた今後の将来像に関する取組について



(1) 考え方

- 10年後の将来像、3年後の将来像の作成は、本市のDXを加速させるためのスタートを切る取組
- 今回の整理で終わりではなく、常に国や技術動向を踏まえながら、各部局において不断の見直しが必要
- また、そこに向けて何を目の前の取組(令和4年度等)として実施していくかが、今後のポイントとなる。
- この「目の前の取組」が今後の重点目標に位置付けられていくことが理想。

(2) 具体的な今後の進め方

① 令和4年度

- ・ 令和4年度においては10年後及び3年後の将来像を踏まえ、まずは3年後の将来像に向けて「具体的に何をしていくか」を各部局において整理する。
- ・ その中で、令和4年度において取り組んでいく事項をより具体的に整理する。

② 令和5年後以降

- ・ 令和5年度以降においては、10年後及び3年後の将来像の時点修正を行うとともに、令和4年度を取組を踏まえ、これまでの振り返りとともに、令和4年度に整理した今後の取組を見直す。
- ・ その中で、令和5年度において取り組んでいく事項をより具体的に整理する。
- ・ 令和5年度以降における具体的な取組については、極力、重点目標に位置付けていくことを目標とする。

(3) 事務局の動き

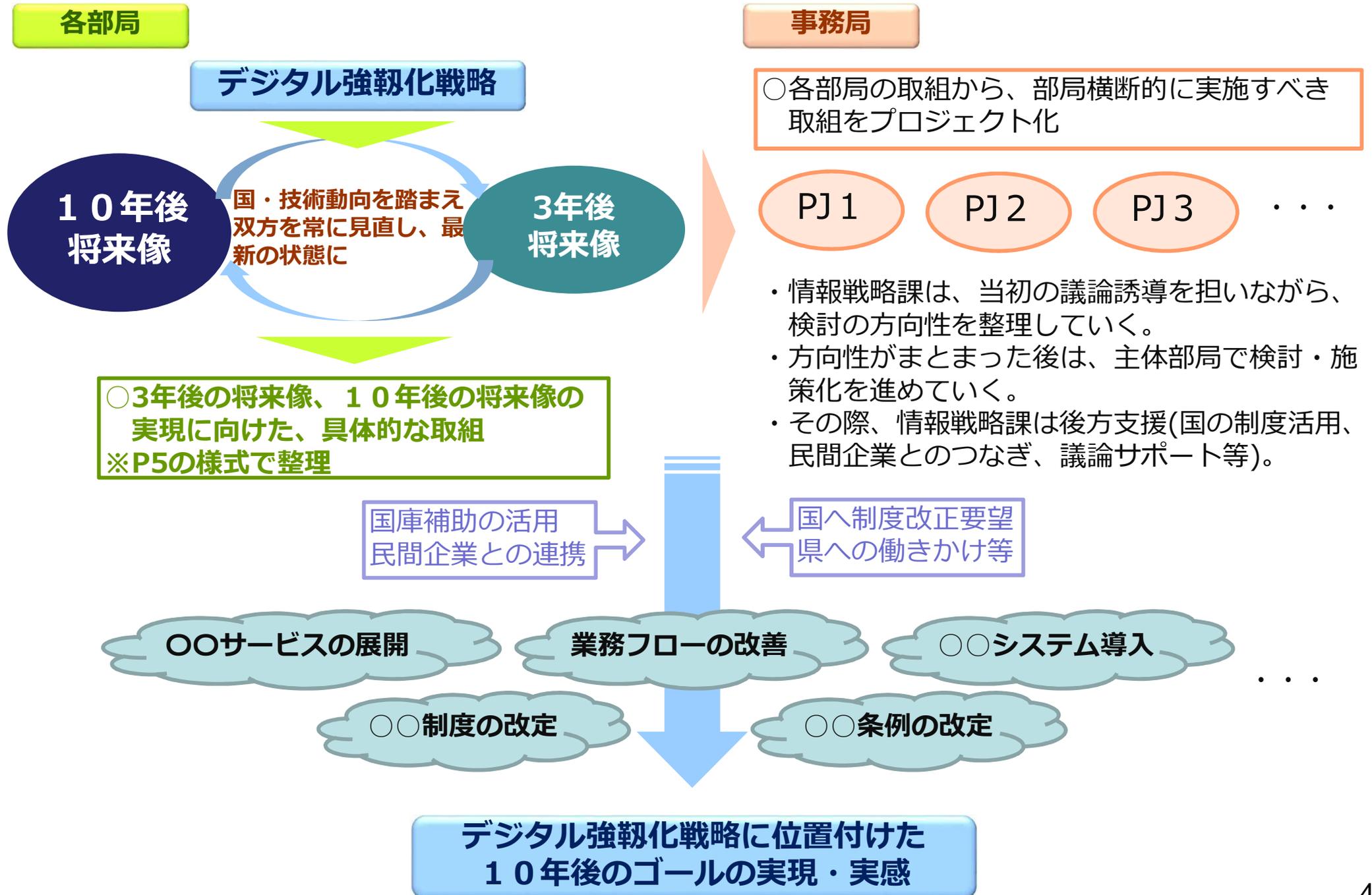
① 令和4年度

- ・ 各部局の3年後の将来像及びその実現に向けた具体的な取組を把握し、共通項を整理する。
- ・ 共通項等を踏まえて、部局横断的なプロジェクトチームを設置する。
- ・ プロジェクトチーム設置後は各チームで検討を進めていく。当初の議論誘導は情報戦略課で担い、徐々に主体となる部局主導での議論へ移行していく。各チームのチームリーダーは本部員

② 令和5年度以降

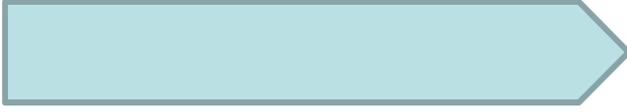
- ・ 各部局で修正された10年後及び3年後の将来像、今後の取組を踏まえ、令和4年度プロジェクトチームの見直しや新規設置チームを整理する。
- ・ 議論方法は令和4年度と同様。

(4) 今後の動きに関するイメージ図



3 重点目標作成時におけるデジタル化施策に関する作業について

- これまでの整理のとおり、令和4年度においては3年後の将来像の実現に向けたロードマップ及び令和4年度における取組事項を整理していただく。
- 作成様式は以下のとおり（部局ごとに複数のロードマップがあっても良い。）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
ロードマップ			
令和4年度 具体的取組 事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ の検討 ○ との調整 ○ の導入(重点取組項目 . . . に掲載) 		
令和4年度 取組課題	<ul style="list-style-type: none"> ▲ 制度が課題 ▲ が となっているため、実施が難しい。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報戦略課では、ロードマップ及びこれらの事項をヒアリング等も実施しながら把握 ■ それを踏まえ、プロジェクトテーマ等を整理していく 		